

北樺太油田概況  
同 施業計畫概要

北樺太石油株式會社

1159



### 北樺太油田概況

大正七年北樺太油田地ノ地質調査ヲ爲シ同八年ヨリ地質調査ノ外新ニ試掘ノ作業ヲ開始シ爾來今日ニ至ル迄ノ間油田地域ノ大半ニ亘リテ地質ノ調査ヲ終了シ且オハ以南六十有餘里ノ地域中オハ、エハビ、ビリツン、ヌトウ、ヌイオ、チャイオ、ウイグレック及カダングリー等八ヶ所ノ油田ニ就キ試掘ヲ行ヘリ即チ左ノ如シ

作業地名	鑿井型式	開	始	年	度	及	坑	井	數
オハ	ロータリー式	大正八年同	—	—	—	—	—	—	二
エハビ	上總掘式	同九年同	—	—	—	—	—	—	三
ビリツン	ダイリヤモン式	同十年同	二	—	—	—	—	—	一
ヌトウ	ロータリー式	同十一年同	—	—	—	—	—	—	二
チャイオ	上總掘式	同十二年同	—	—	—	—	—	—	一
ウイグレック	上總掘式	同十三年同	—	—	—	—	—	—	一
カダングリー	上總掘式	同十四年同	—	—	—	—	—	—	一
合計		同十五年三月末迄	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—



計	ウイグレッタ		カタングリ	
	上総掘式	ボイヤモンダ	上総掘式	ボイヤモンダ
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一四	一	一	一	一
七	一	一	一	一
四	一	一	一	一
三	一	一	一	一
三〇	一	一	一	一

以上ノ試掘井ハ孰レモ多少ノ油氣ヲ見タルモ就中有望ノ油田ト目スヘキモノオハ及又トウノ兩地ナリ  
 オハ油田ノ背斜軸ハ略ホ南北ニ貫通シ地層ノ傾斜緩ニシテ地質構造頗ル良好ナリ試掘ノ結果ニ依レハ油  
 層ハ五十間ヨリ百七十間ノ間ニ數層介在シ油砂ノ状態ハ新津小口油田ニ類似ス而シテ油量ノ豐富ナル點  
 ニ於テハ本邦油田中之ト比肩スルモノ少シ大正十年ニ試掘セル上總掘三坑井ハ二十間内外ニテ孰レモ多  
 少ノ出油ヲ見又大正十一年ニ試掘セルロータリー式第一號井ニ於テハ豐富ナル油層ヲ發見セリ現在出油  
 井八坑ノ日産合計約三百五十石ニシテ原油ノ比重ハポームー二十度ナリ各井ノ深度及出油量左ノ如シ

網式第一號井	網式第二號井	同 第五號井	同 第一號井	上總掘式第一號井	同 第二號井	同 第三號井	同 第四號井
深 度	百六十七間	百〇三間一尺	百五十二間五尺	三百七十間五尺	九十五間	七十間	百間一尺
日 産	八 十 石	百 三 十 石	二 十 石	三 十 石	三 十 石	二 十 石	二 十 石
計	三 百 五 十 石	二 十 石	十 五 石	十 五 石	十 五 石	十 五 石	十 五 石

又トウ油田ニ試掘セルロータリー式第一號井ノ深度ハ五百間二尺シテ三百二十間前後ノ地層ニハ油及瓦  
 斯アリ其推定油量日産約二十石ニシテ原油ノ比重ハポームー四十度内外ナリ瓦斯ハ日産五萬立方呎ニシ  
 テ揮發油含有率甚タ大ナリ又四百九間ノ個所ニハ大ナル瓦斯層アリ日産壹百萬立方呎ニ達ス此瓦斯ハ揮  
 發油ノ含有率少キモ燃料ニ好適ス



施業計畫概要 (北樺太石油株式會社)

四

一、第一年度

- (イ) オハニロータリー式十坑ヲ開發シ且又トウオ油田ニ試掘井一坑開掘準備ノタメ軌道ヲ敷設ス
- (ロ) オハ油井十六坑ヨリ原油二十一萬九千九百十石ヲ採收ス
- (ハ) オハ陸上送油鐵管ノ敷設並送油ニ要スルポンプ、ボイラー等ノ据付準備ヲナス
- (ニ) オハニ於テ各五千噸鐵タンクヲ五箇所ニ建設ス
- (ホ) オハ原油二萬二千噸ヲ輸出ス
- (ヘ) 油田區劃ヲ決定ス

二、第二年度

- (イ) オハニロータリー式九坑開掘シ且前年着手ノ又トウオ油田ニロ式ヲ以テ試掘ニ着手ス
- (ロ) オハ油井二十五坑ヨリ原油四十萬三千六百五十五石ヲ採收ス
- (ハ) オハニ於テ各五千噸鐵タンクヲ四箇所ニ建設ス
- (ニ) オハノ陸上送油鐵管並海底鐵管ヲ敷設シ且送油ニ要スルポンプ、ボイラーノ据付ヲ完成ス
- (ホ) オハ原油四萬六千噸ヲ輸出ス
- (ヘ) オハニ於ケル發電所擴張工事ヲ竣成ス

三、第三年度

- (イ) オハニロータリー式九坑ヲ開掘シ且又トウオ油田試掘ヲ終了ス、カタンタリー油田試掘ニ着手ス
- (ロ) オハ油井三十五坑ヨリ原油四十六萬七千五百六十八石ヲ採收ス
- (ハ) オハニ於テ各五千噸鐵タンクヲ二箇所ニ建設ス
- (ニ) オハ原油七萬二千噸ヲ輸出ス

各年度ニ共通作業

各年度共機械、器具、其他ノ諸材料、食料品等ノ海上、湖上及陸上ノ輸送、軌道ノ敷設、道路、水路ノ開設改修、森林ノ伐採、防火線ノ設置、各坑井所在ノ貯油設備、無線電信ノ維持、電話線ノ新設及維持電燈ノ新設、諸建築物ノ建築、開墾、牧畜、製油其他雜多ノ施設ヲ行フ

以上